

## CDMを利用したコベネフィット実現促進・支援事業費

804百万円(704百万円)

水・大気環境局 水・大気環境国際協力推進室

### 1. 事業の概要

アジアの途上国では、経済発展に伴い大気汚染、水質汚濁等の環境問題が顕在化しつつある。アジアの途上国が国内に抱える環境問題の解決と温暖化対策とを同時に実現するため、CDMを利用したコベネフィット事業の実現を促進・支援する。

#### CDMを利用したコベネフィット支援事業

コベネフィットを実現するCDMプロジェクトに対して、発生するクレジットの50%以上を政府口座に無償移転することを条件に、初期投資額の1/2を補助する。

#### コベネフィット効果の定量評価手法の検討及び普及啓発

「コベネフィット定量評価マニュアル」の活用等によるコベネフィット型事業の推進方策について検討を行う。また、ホームページ等により国内外においてCDMを利用したコベネフィット事業の普及啓発を行う。

### 2. 事業計画

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5
CDMを利用したコベネフィット支援事業 (補助事業)					→
コベネフィット定量評価手法の検討及び普及啓発					→

補助事業は公募により実施する。

### 3. 施策の効果

- ・ 排出権の政府移転による日本の温室効果ガス排出削減目標の達成に貢献。
- ・ 我が国の途上国における環境汚染対策への貢献及びコベネフィット型対策を通じた日本の技術の普及。
- ・ 途上国で実施する事業に対して支援を打ち出すことにより、途上国の温暖化対策への理解及び積極的な参加を促進。

# CDMを利用したコベネフィット実現促進・支援事業

## 環境汚染対策

コベネフィット

## 温室効果ガス削減対策

大気汚染対策や水質汚濁など環境汚染対策と温室効果ガス削減を同時に実施する取組

(具体例)

- ・火力発電所の効率改善
- ・公共交通網の整備
- ・排水処理時のメタン回収・発電利用

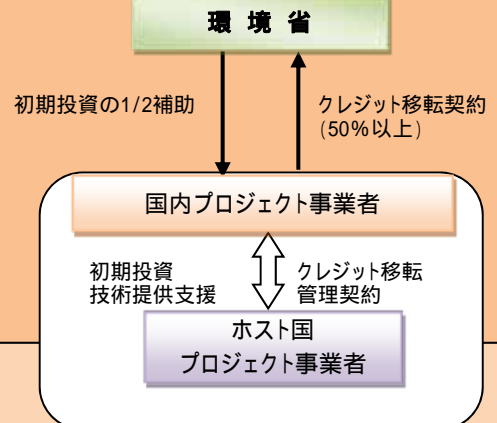
## 事業内容

発生するクレジットの50%以上を無償移転することを条件に、コベネフィットを実現するCDMプロジェクトの初期投資の1/2を補助。

### 想定されるコベネフィット対策の対象分野

コベネフィット対象分野	対策活動	環境保全便益	温暖化対策便益
大気汚染	燃焼の改善	大気汚染物質(SOx, NOx, 煤塵)の減少	温室効果ガス排出削減
	燃料転換		
	交通対策		
水質汚濁	ヘドロ等からの温室効果ガス発生防止	水質改善、悪臭防止	
廃棄物	適切なおみ埋立	廃棄物の適正処理	
	バイオマス廃棄物活用	廃棄物量の減量	

### 事業スキームの例



## 【実施例】エタノール工場廃液からの発電用バイオガス事業(タイ)

オープンラグーンに排出されていたエタノール工場からの排水に対して、嫌気性発酵槽を導入してメタンガス(温室効果ガス)を回収し発電する。この事業により、排水の水質改善及び排水からの悪臭改善並びにメタンガス放出量の抑制及び化石燃料使用量の削減を実現する。

**温暖化対策**  
温室効果ガスの排出削減

**環境汚染対策**  
排水の水質改善  
悪臭改善  
(嫌気性オープンラグーンの削減)

